

# 災害弱者の 命を守る避難方法を学ぶ



愛知県立大学・看護学部  
地域災害弱者対策研究所  
感染制御学

保育園・幼稚園危機管理学

清水宣明 (教授 医学博士)

# 災害弱者とは

“とにかく逃げろ！”が困難な人たち



赤ちゃん  
幼児，児童，家族  
保育施設職員



妊婦さん



高齢者  
障がい 病気をもつ人  
ケガ人，ビジター



# あなたも 簡単に 災害弱者



ケガなど  
しょう  
ものなら



そのとき  
元気な保障など  
ない



10年後  
20年後  
だれでも

「いきなり対策」ではなく  
まず、ひとりひとりが  
**自分の被災と避難** の  
**イメージ** を持てますか？



災害対策は **意識論**じゃない

**仕組み**(システム), **戦術**

**避難**は **科学**(ロジック)

**不安, 恐怖, 危機感**は

**必要ない!**

**東日本大震災**  
なにが起きたのか？

**津波被災**

**「災害対応」を学ぶのに最適  
まず、避難とは？**

# 震災前の南三陸町 志津川地区



道も広く ゆったりしていた

# 志津川地区 なぜ？



836人死亡

浸水エリア死亡  
5.8人 / 100人

# 釜石の奇跡

どんな防災教育が  
子どもの“いのち”を  
救えるのか？

NHKスペシャル 取材班

アメリカ・ドイツ・中国など国内外で受賞多数  
NHKスペシャル  
「釜石の“奇跡” いのちを守る特別授業」を書籍化

子どもたちの  
“犠牲者  
ゼロ”を生み出した  
防災教育と危機管理術

イーストプレス

学校（海拔2m）から  
600m地点（海拔6m）



# 「釜石の奇跡」 避難距離

釜石市鵜住居地区  
犠牲者 583人



鵜住居の小中学校

800m

浸水範囲

避難エリア

防災センター

鵜住居

鵜住居駅入口

第13地割

第16地割

百鵜住神社

釜石市鵜住居町  
第8仮設団地

ささき歯科医院

鵜住居町

利本行寺

第27地

第28地割

# 鵜住居の中学生

“私たちは **週に一度**  
**本気の訓練**を続けてきました。  
だから **助かったんだ**と思います”



訓練



本番

# 避難移動の現実

**850m**

**最長避難距離**

**650m**

**平均避難距離**

だから 行政は この距離で到達できる場所に  
**公的避難場所** を置く

“とにかく逃げろ！ここまで来れば 助かりますよ！”



## 犠牲者

つまり **650～850m** 行けずに 亡くなった

津波到達は 30～50分後

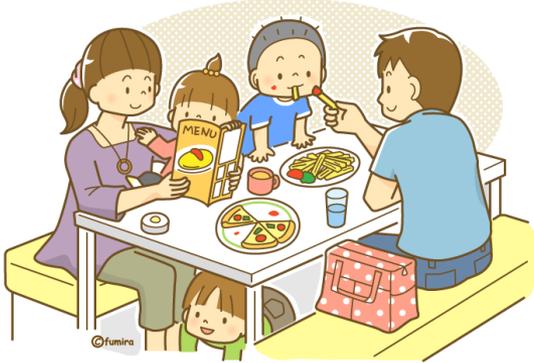
**1時間に2キロの速度** でも **20～25分**で行けたはず

なぜ「逃げ遅れた」のか？



# 何分で避難を開始できますか？

**絶対に不意打ち  
トラフ地震は  
揺れが長い！**



# 熊本地震

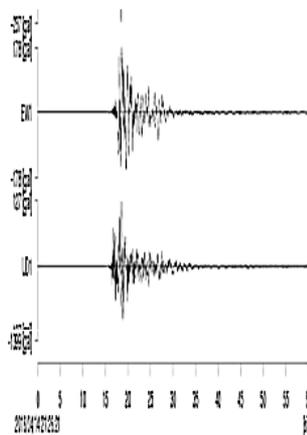
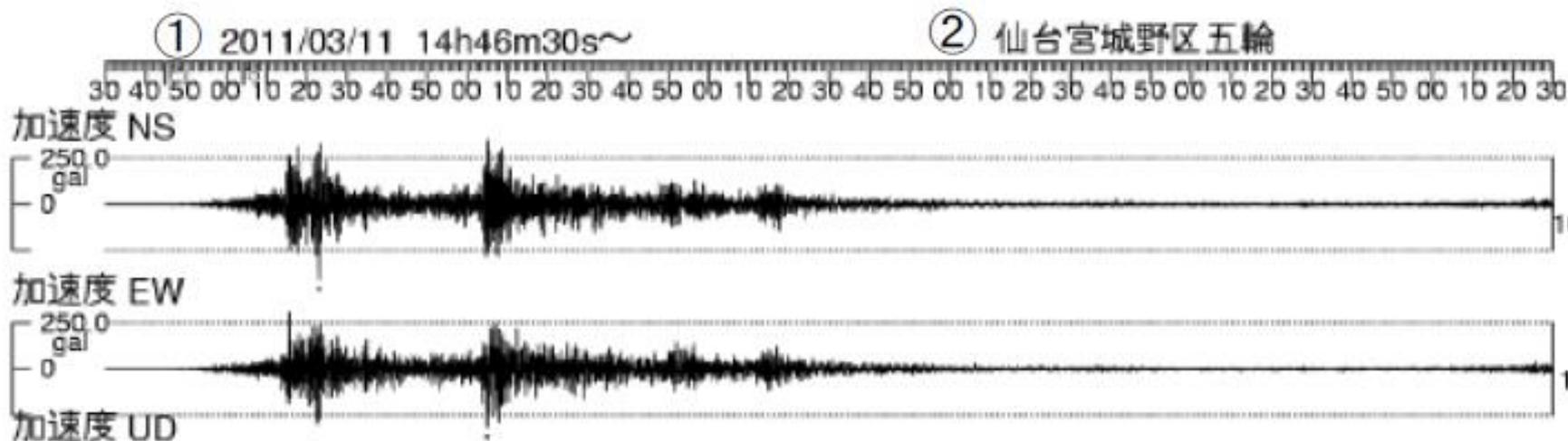


# 東日本大震災



# 東日本大震災

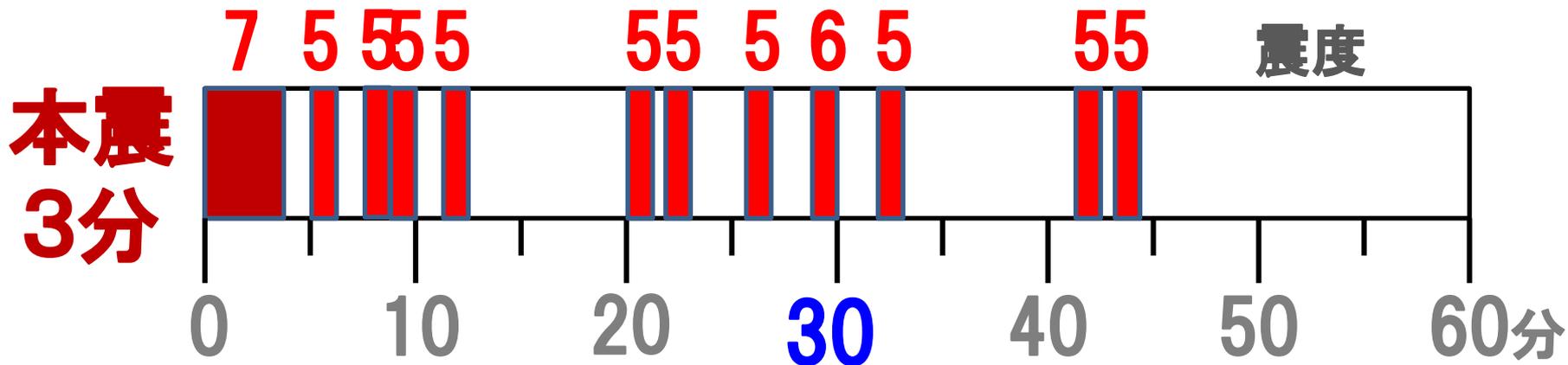
## 3分の揺れ 3分動けなかった！



熊本地震  
(約10秒)



# 3.11発震1時間以内の余震活動(震度5以上)



本震後の経過時間

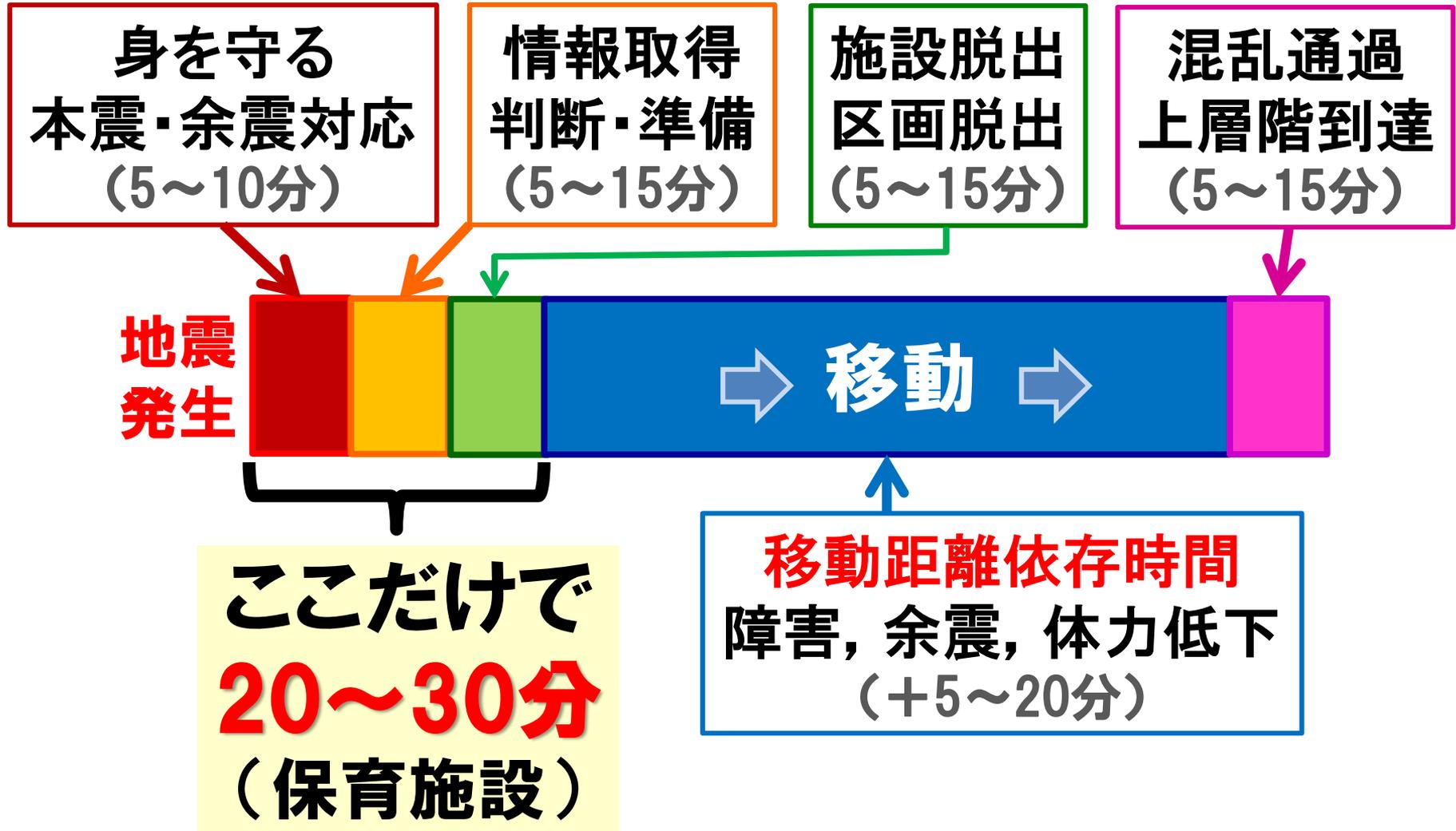
余震 4分に1回

本震後 30分 の 10分 くらい  
揺れで 動けなかった



愛知県は地震に慣れていない

# 避難に必要なのは 移動時間だけではない！



# 災害は**防災訓練**の避難を許さない

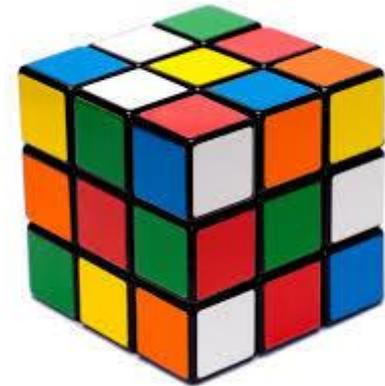
- **予想可能/不可能な通過障害の発生**  
家屋破損 落下物 地面変形 液状化 火災
- **景観変化による方向・距離感覚不全**  
夜間 停電 悪天候 倒壊 不慣れ 思込み
- **突発事象の発生**  
余震 悪天候 ケガ 病気 体力/精神力低下
- **大きな精神的ストレス**  
恐怖 不安 躊躇 油断 あせり あわて
- **情報の減少・途絶**  
停電 操作不慣れ 紛失 故障
- **災害弱者の顕在化**  
家族 知人友人 出会い 支援 良心 責任感



# 避難は いろいろな要素からなる

1. 距離は どうか？
2. 時間は ？
3. 地形は ？
4. 体は ？
5. 心は ？
6. 人間関係は ？
7. 病気は ？
8. 環境は ？

(教育 備蓄 支援 情報など)



さらに

**なぜ** 多くの犠牲者が？



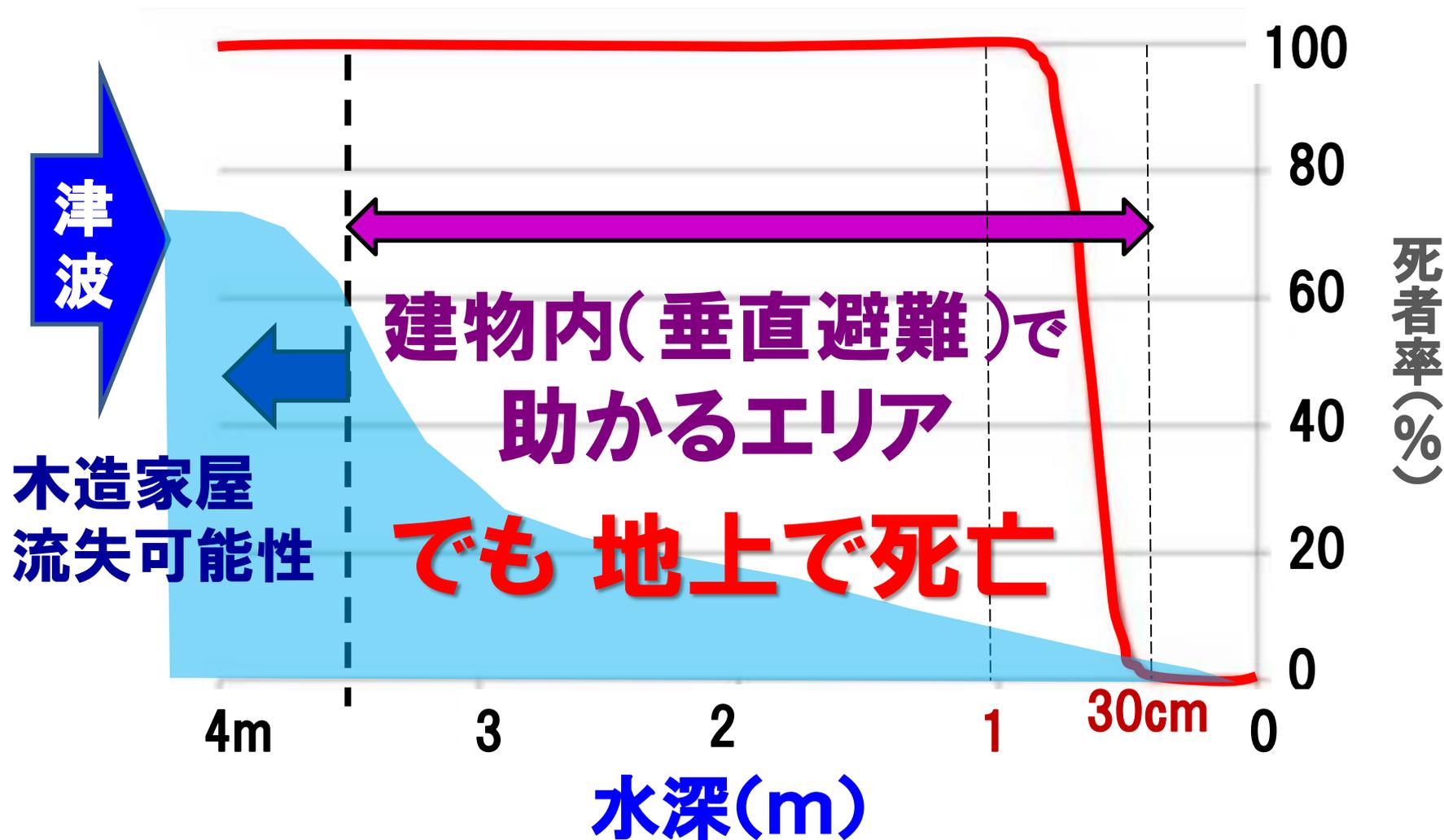
# 岩手県釜石市街

何かに気づきませんか？

第1波停止時

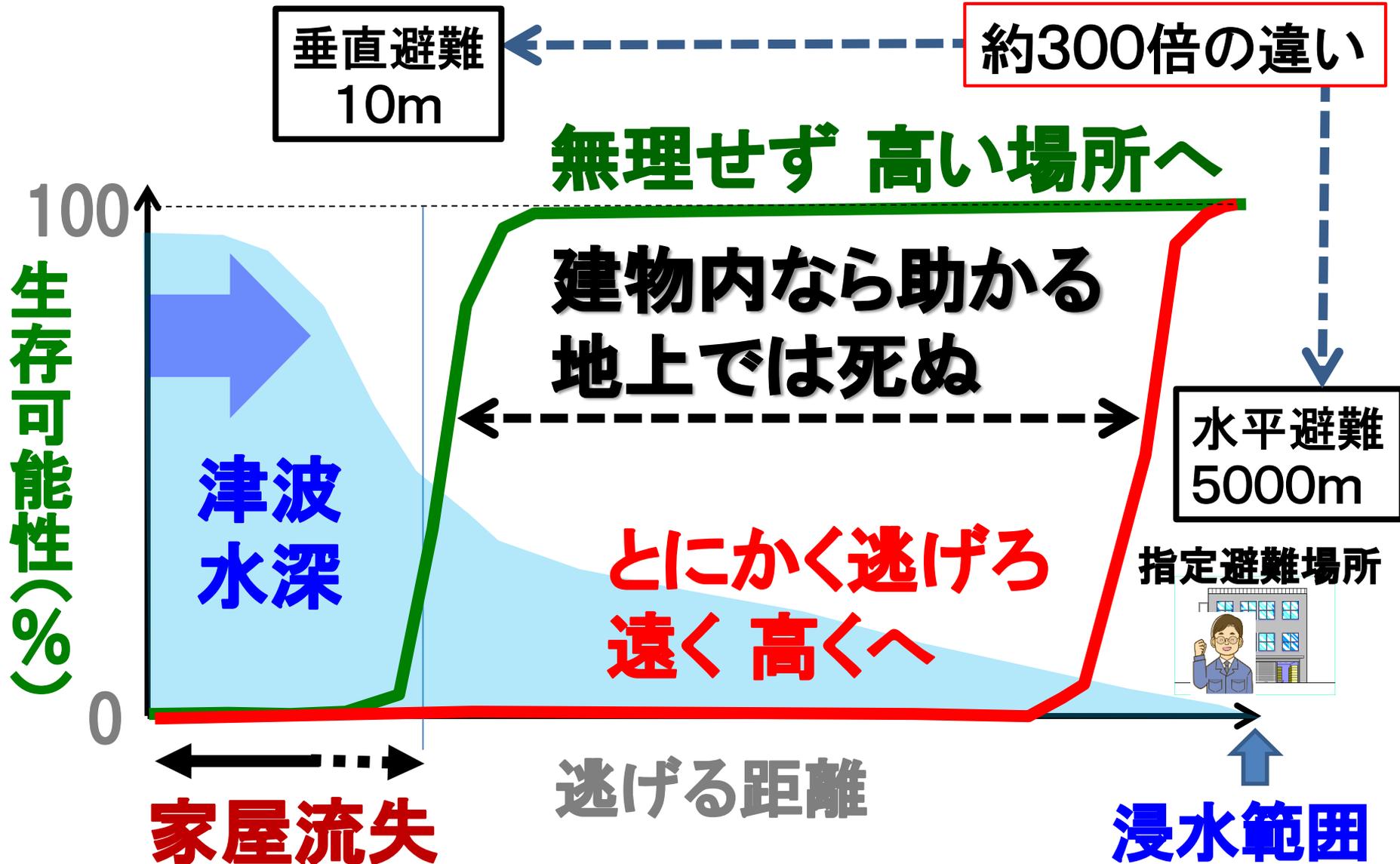
1142人死亡

# 津波浸水の深さと死亡率の関係



内閣府が設定した浸水深と死亡率の関係

# 垂直で助かるエリアは 非常に広い



# 指定避難場所の意味を理解しよう

“目指さなくてよい” “逃げなくてよい”  
という意味ではない！ ただ

高い安全の施設だが

全員が到達できることを保証できない

“ここに来なければ助からない”  
という意味ではない！

避難場所の「有力な候補のひとつ」

気づいたときには  
遅すぎる！

15秒～3分

さらに  
逃げろ！

津波  
認識

津波  
到来

根拠は？  
情報は？

来た！やばい！

死亡

危険回避時間

強者は 対応できるかも (逃げ切れる)

弱者は 競争に勝てない (進退窮まる)

本当に  
「逃げ遅れた」のか？

「とにかく逃げれば」

助かるのか？



疑問

# 視点のずれ

行政学者の視点 “逃げ遅れた”

実際は

住民の視点 “たどり着けなかった”

共通点の思い込み

“間に合うと思っていた”

ずれの解消 = 災害対策

安易な “とにかく逃げろ！” は  
非常に危険

「とにかく逃げろ」ができない人  
死ななくてよいのに 死なせてしまう

“とにかく逃げろ！ からだを鍛えろ！”  
できる人に 対策は 必要ない

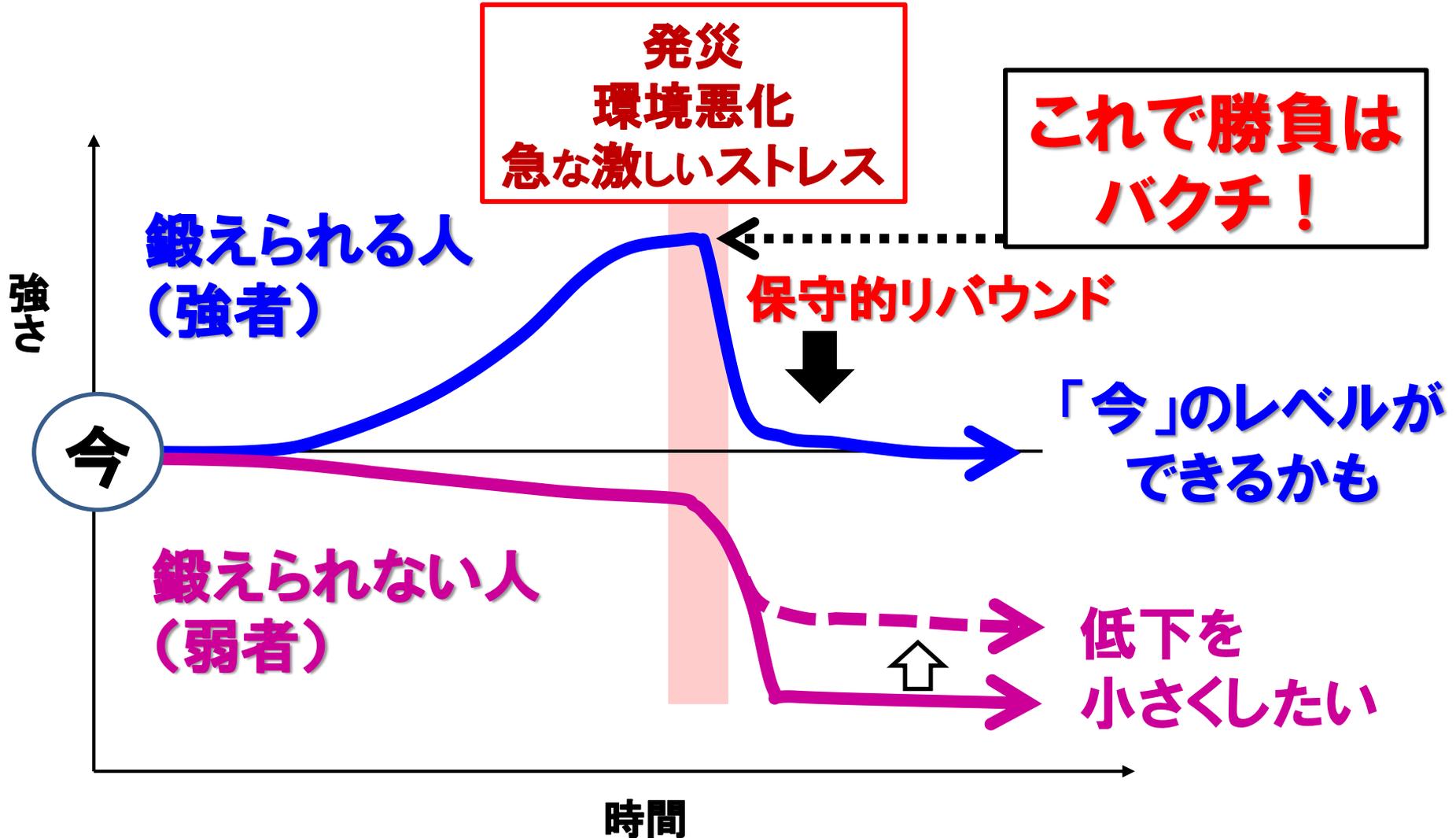


被災想定地域  
“とにかく逃げろ！”  
では済まない 場所と人



# からだを鍛えるのは「今」を維持するため

## 災害弱者は条件悪化に弱い



**“とにかく逃げろ！からだを鍛えろ！”**

**「できない人」**

**言われた気持ち わかりますか？**



**あなた ご家族  
病気 入院中 障がい者**



**“とにかく治れ！ベストを尽くせ！”**

**言われたら？ 言われ続けたら？**

治療や防災の名を借りた

虐待

どうして がんばれないの？  
死にたいの？



「自己満足」「表面的な成果」の裏で

本当に対策が必要な人たち  
うしろに 隠れてしまった……

よくできた！ すごいね！



表彰！

がんばったね！



# 災害弱者の現実的な 地震，津波，洪水避難



# 津波・洪水避難の大原則

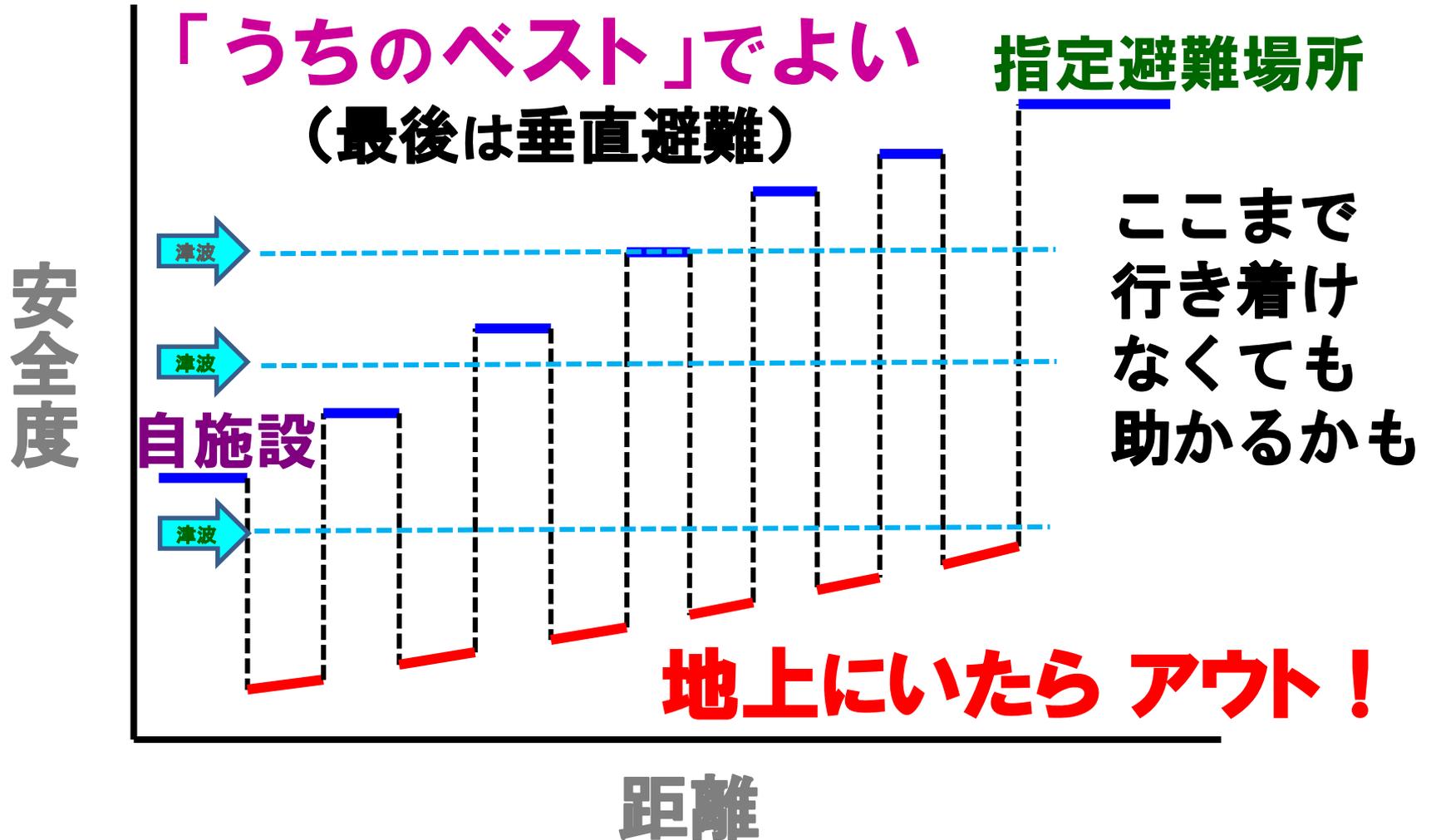


**絶対に  
地上で 遭遇しない！**

**水の襲来時（到達予想時刻）に  
地面の上にいるな！**

水が来る前に どこかの建物に入ろう！

水平避難 ⇒ 最後は垂直避難



# 災害弱者の避難の**注意**点

**谷間**が長い  
危険な時間 長い  
取り返しがつかない

安全度

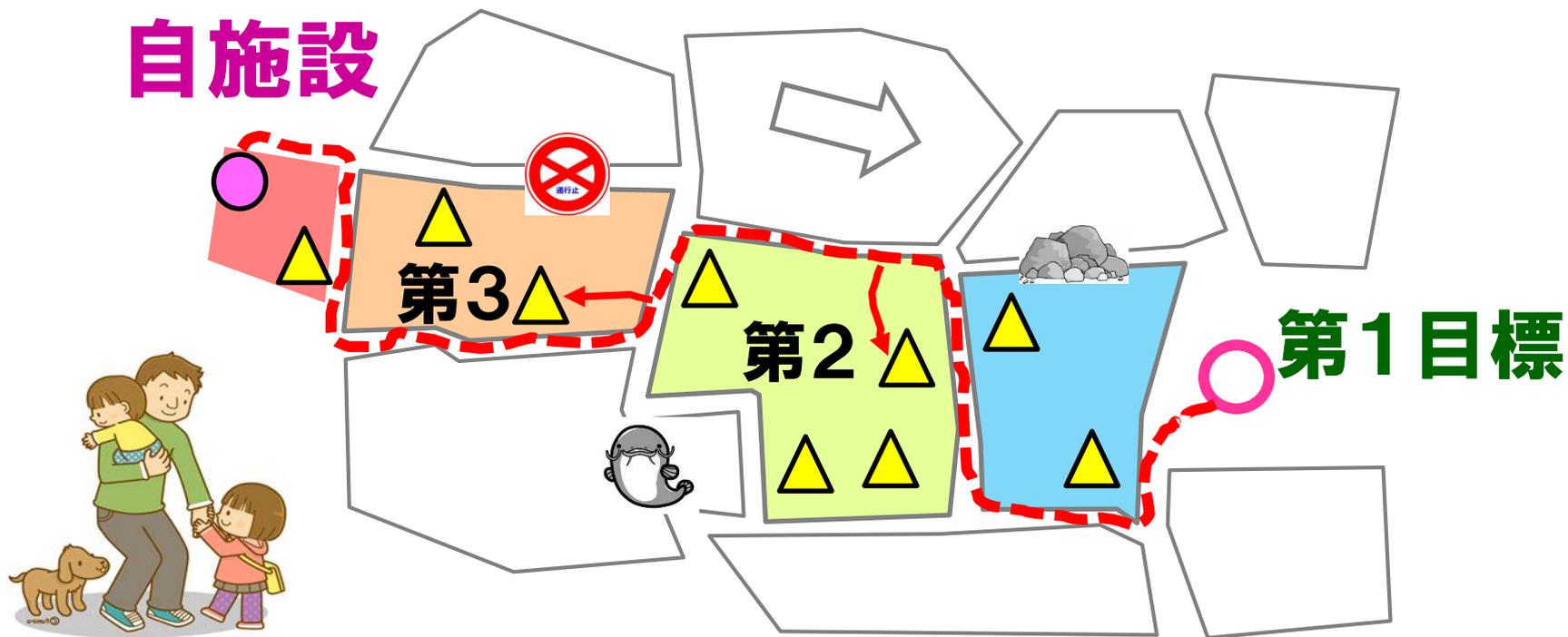
自施設



距離 時間

# 災害弱者の**ベスト/ベター**避難のイメージ

**最後まで地上でがんばるな！**  
**あきらめが肝心！ 建物に入れ！**



**“無理しないで大丈夫！ 常にバックアップがある”**

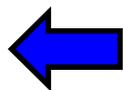
# 「無理のない**自分のベスト**」でよい

## 2階以上へ



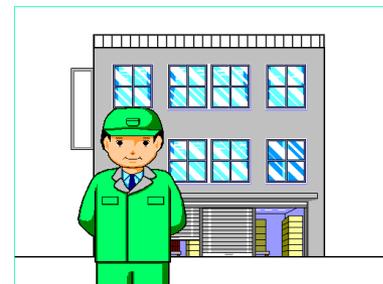
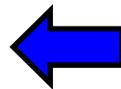
自宅, 自園

無理  
かな



より近くの  
ベターな建物

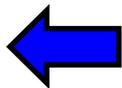
無理  
かな



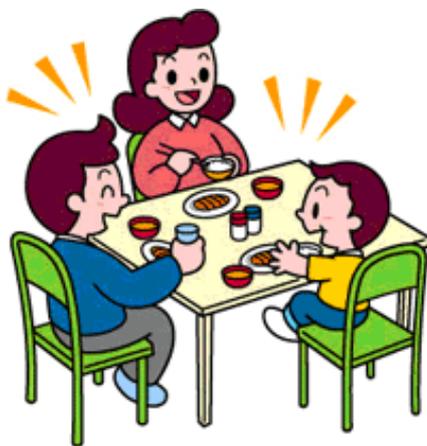
余裕のある  
ベスト目標



無理  
かな

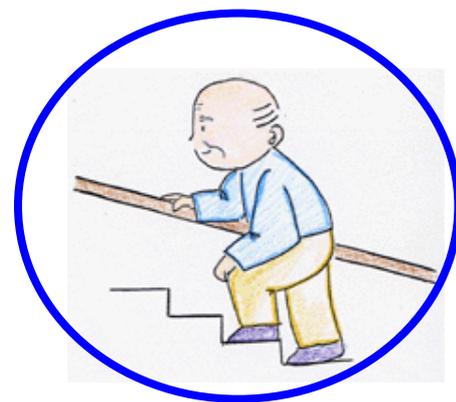
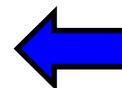


ベッド 上体起こし



イス テーブル

無理  
かな



2階 階段

# 建物の倒壊が心配だから 外部に避難？



これが **倒壊** するようなら **周囲**はどうなっていますか？

そんな建物なら **強くて長い本震で倒壊** を心配すべき

**倒壊する建物は限られる(事前評価)**

# リセット避難の問題

せっかく  
すでに  
高さ  
頑丈  
安全  
あるのに



**A** 孤立するが 命は全員助かる(既得安全)

**B** 孤立しないが 犠牲が出るリスク  
(既得安全のリセット 効率が30倍悪い  
ひとりの犠牲で全否定)

**A**で助からないなら **B**でも助からない

# 地震・洪水の避難は 発災中！

次々に起こる **本震 余震**

進行する **破壊 崩落**

増え続ける **障害物**

増幅する **危険 恐怖 混乱**

増大する **不測の事態**



街中は

**戦闘エリア！**



その中を 要支援者を 動かす？

本当に可能？ 必要ある？

# こうなっていないませんか？

## 災害 = 避難

避難とは「難を避ける」

避難 = 遠くに移動？

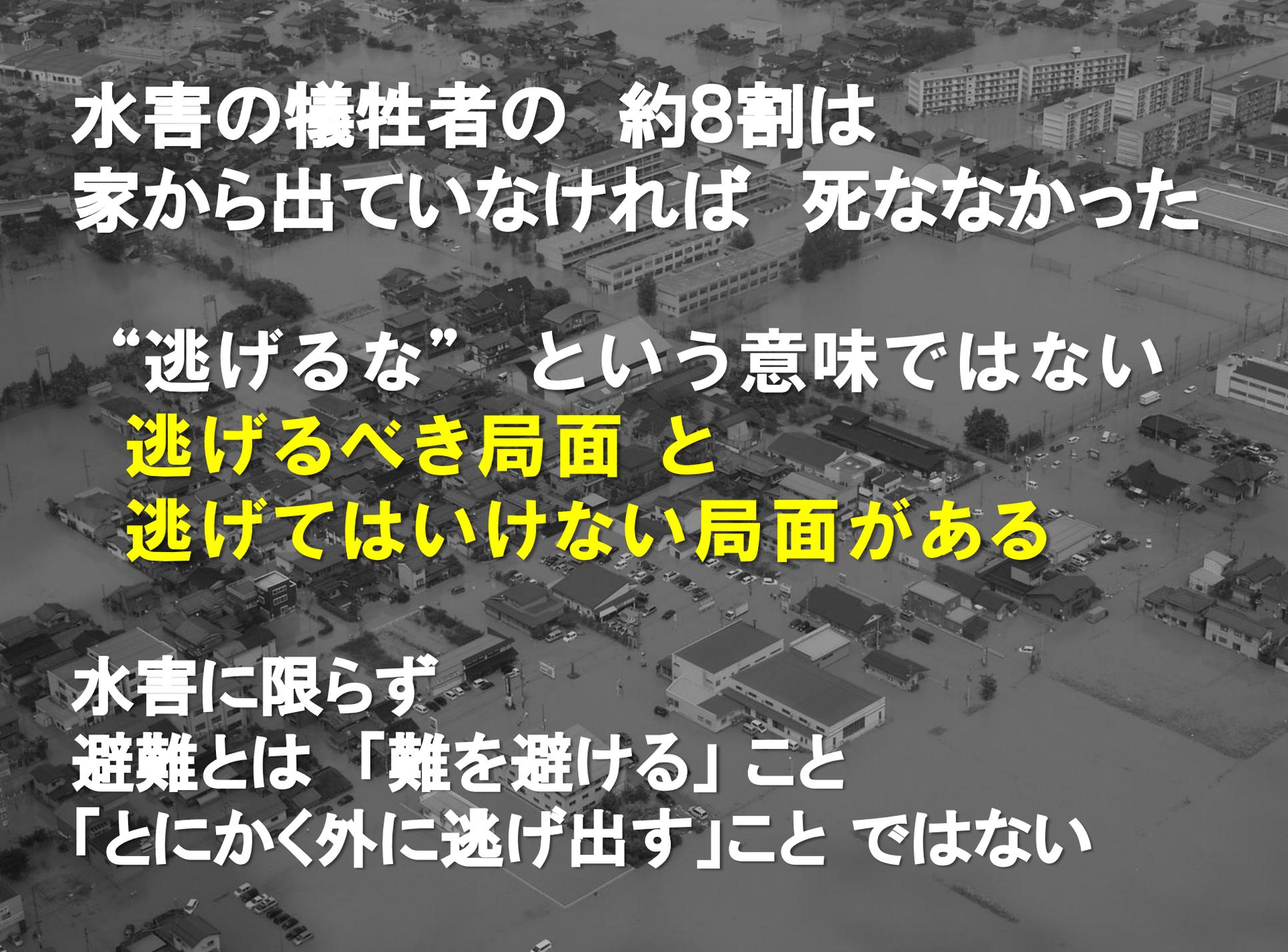
遠くに移動 = より安全？

必要？ 可能？

リスクを 考えていますか？

避難と逃走は違う





水害の犠牲者の 約8割は  
家から出ていなければ 死ななかった

“逃げるな” という意味ではない  
逃げるべき局面 と  
逃げてはいけない局面がある

水害に限らず  
避難とは「難を避ける」こと  
「とにかく外に逃げ出す」ことではない

# 指定避難場所の意味を理解しよう

“目指さなくてよい” “逃げなくてよい”  
という意味ではない！ ただ

高い安全の施設だが

全員が到達できることを保証できない

“ここに来なければ助からない”  
という意味ではない！

避難場所の「有力な候補のひとつ」

**避難の目的** は

**絶対に 生き残ること！**

それを **いつの間にか**

**「とにかく 逃げ出せば！」** に

**置き換えては ならない！**

# 孤立も生き残るための**戦略**のひとつ！



海岸から 700m  
海拔高度 1m  
津波水深 4.6m

避難の目的は 孤立しないことではなく  
生き延びること

事前対策 が打てる

孤立そのもので 死んだ人はいない

# 平地水害での致死的被害



**水が溜まる場所**での  
深い浸水  
(水が集積する地形)

**大きな河川の破堤**による  
近隣住宅の破壊・流失  
(強い流れ)

**愛知県:** 当てはまる場所は限られる

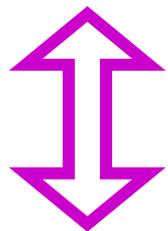
# 避難移動を考える必要がある雨

**梅雨前線** による **長雨** (**予見**可能, 時間あり)

(H29北九州豪雨、H30西日本豪雨、H12東海豪雨)

**台風** による **集中豪雨** (**予見**可能, 時間あり)

**長時間・広範囲に大雨** → **洪水, 土砂災害**



**予見**: もしかすると危険になるかも

**ゲリラ豪雨**

**短時間, 狭い範囲、浸水レベル低  
移動時間なし, 下手に出ると危険**

**ゲリラ豪雨**では

**屋外（施設外）に避難する必要は**

**原則的には ない**

**（例外は 津波, 火災）**

**すでに状況が悪化** している

**家を出ることは かえって危険！**

**2階で助からない内水浸水はない**

**「避難 = 逃げ出す」 ではない！**

現実的には 深さは**最悪**でも この程度  
ただ、1階では危険な場所もある



# 外部避難

リスク，考えていますか？



# 外部避難対策の実例

## 外部避難のリスクとは？



130人の0~5歳児

保育園は **1階部分のみ** ⇒ 避難移動必要

# M保育園の 津波避難



# 未経験が子どもたちを襲う

音 からだ 地震動

心



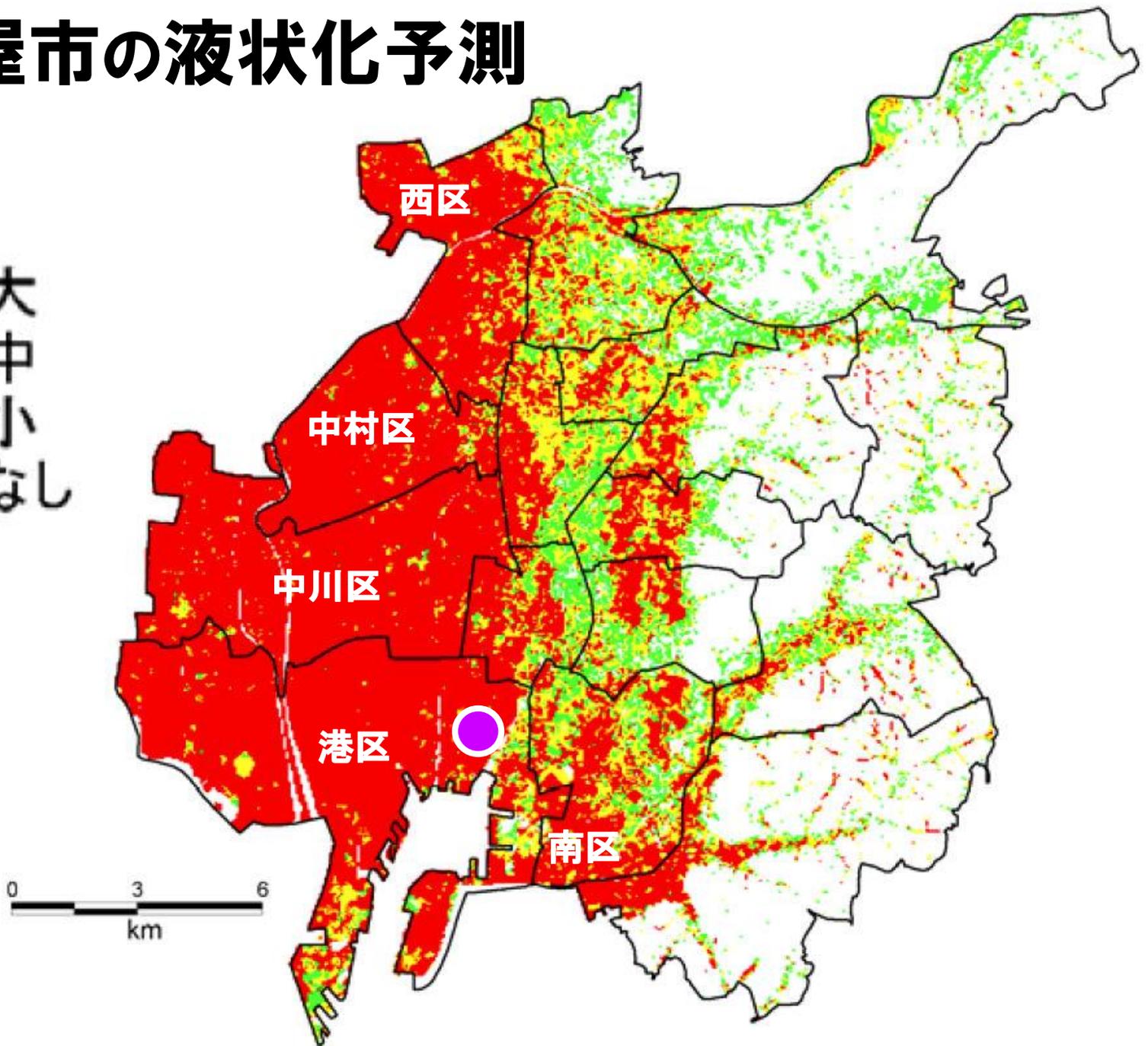
行動

被害

先生

空気感

# 名古屋市の液状化予測



液状化は、即、  
子どもたちの自由を奪う

2011年3月11日

本震停止6分後(閉上)

小斎誠進「その時、閉上は」

地震直後，津波は**まだ**。地震で建物被害も

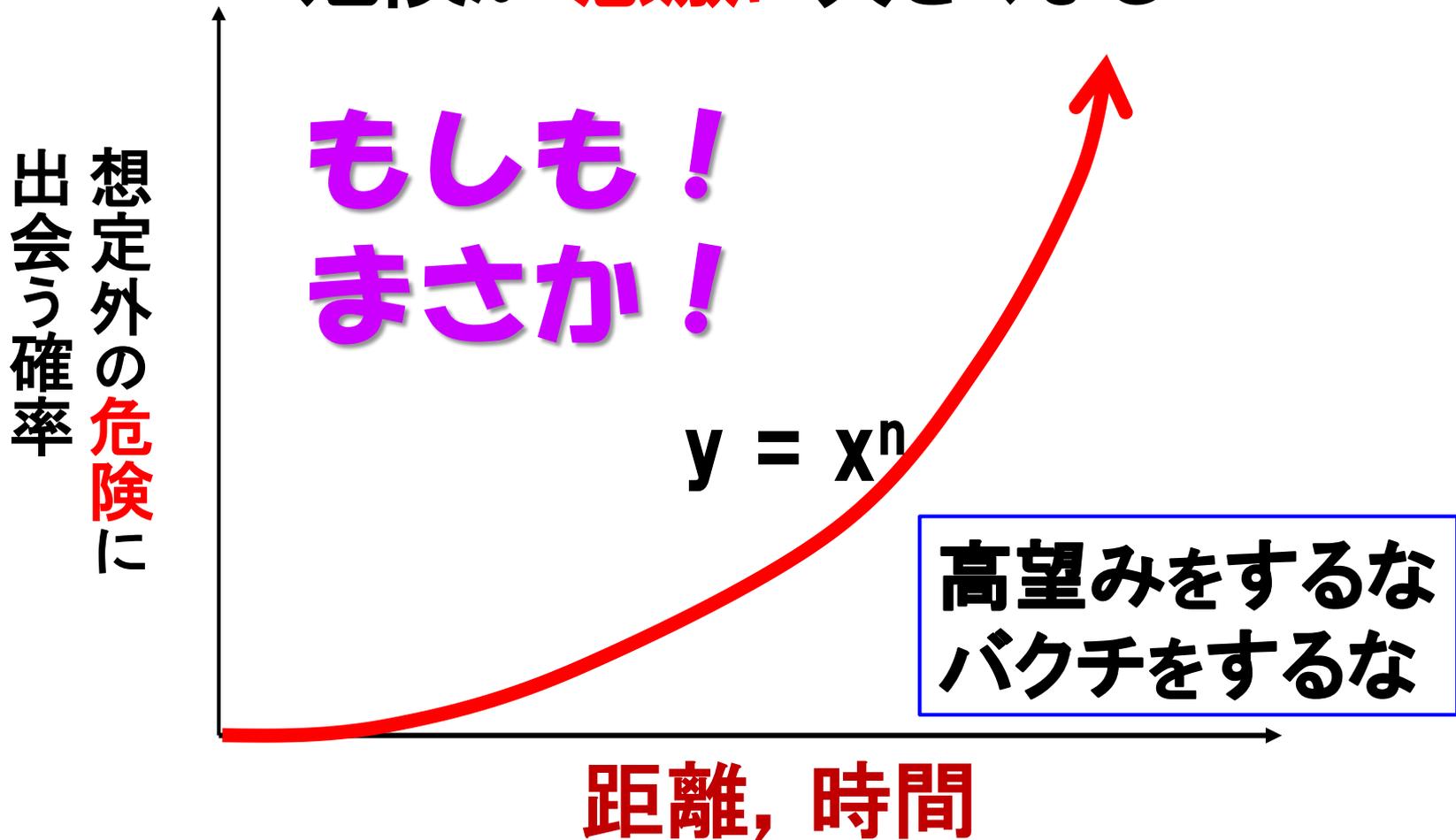
# 雨だったら？

愛知県 107日／365日 (30%)



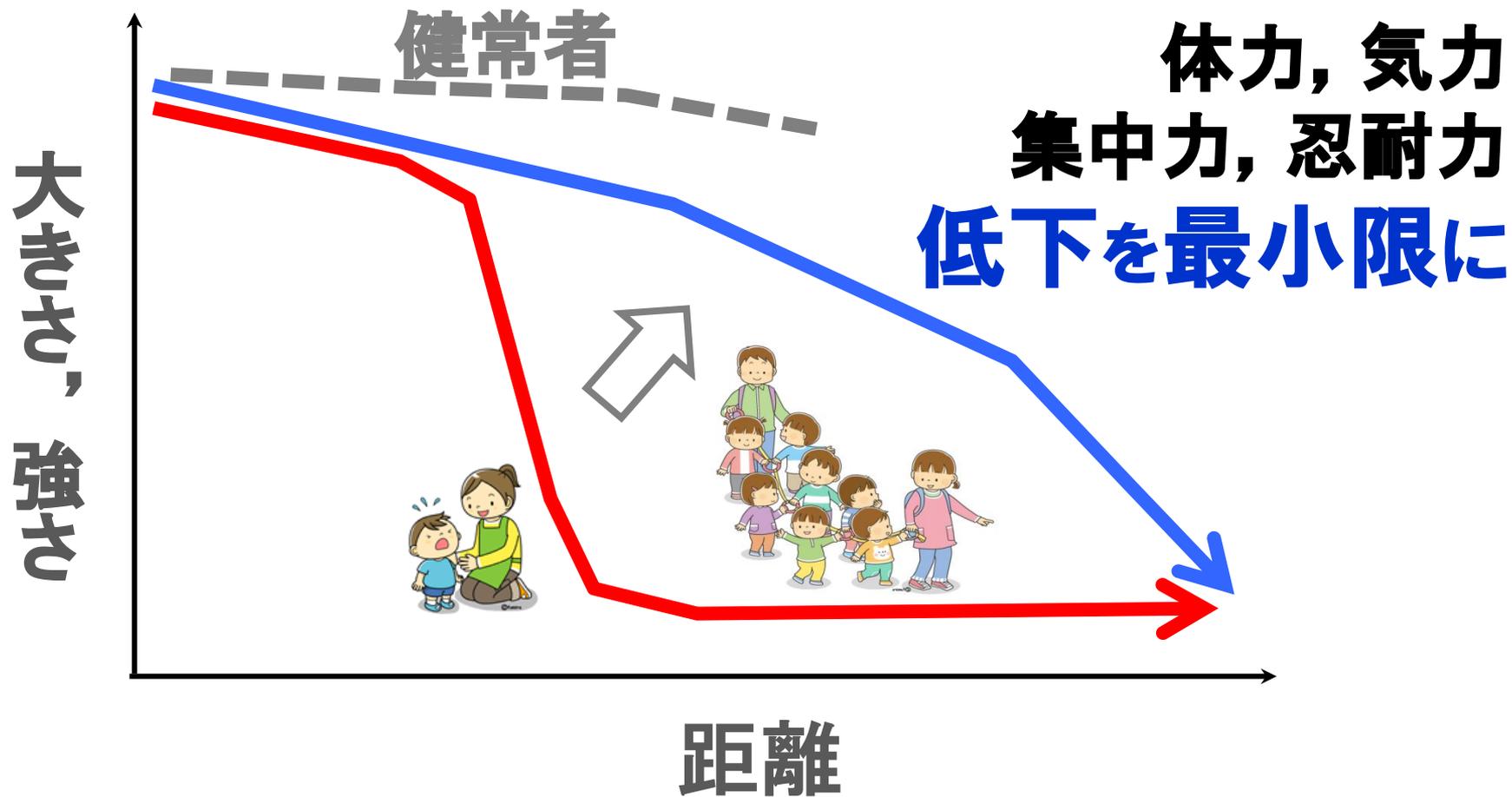
# 避難距離と危険遭遇の関係

避難場所まで遠ければ遠いほど  
危険が **急激に**大きくなる



# 避難移動と 園児の力の変化

短時間・短距離で避難完了させる



# 力の低下を防ぎながら 先に進もう

## 休み休み

### 集合 落ち着き 回復

保育施設



©fumira - 2019/2/18



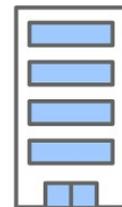
空き地



広場



避難場所



だいじょうぶだよ

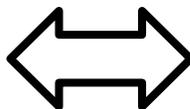
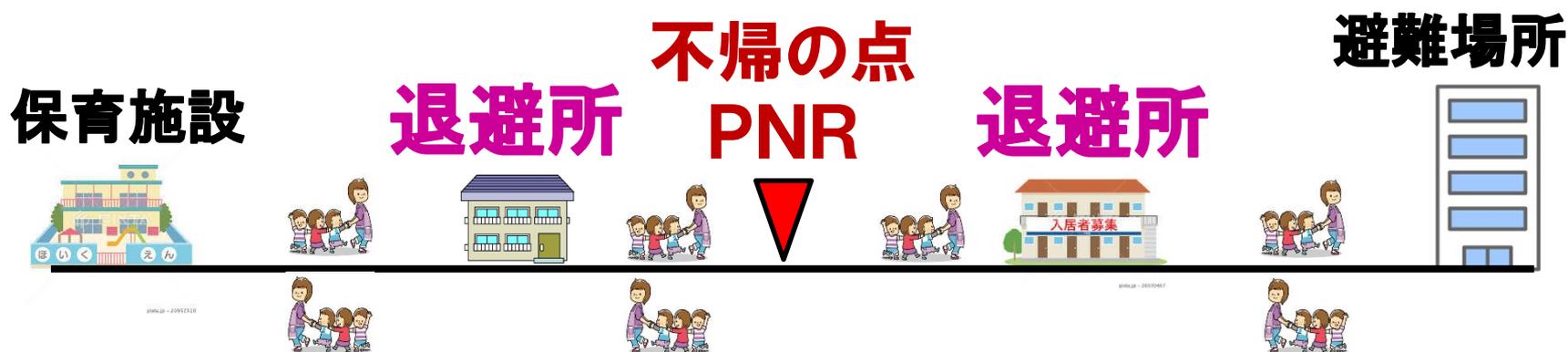


だいじょうぶだよ

# 常に 最低限の安全確保が必要

避難は、**うしろを見ながら進む**！

行けるかな？ 行けないかな？



# M保育園 津波避難マップ



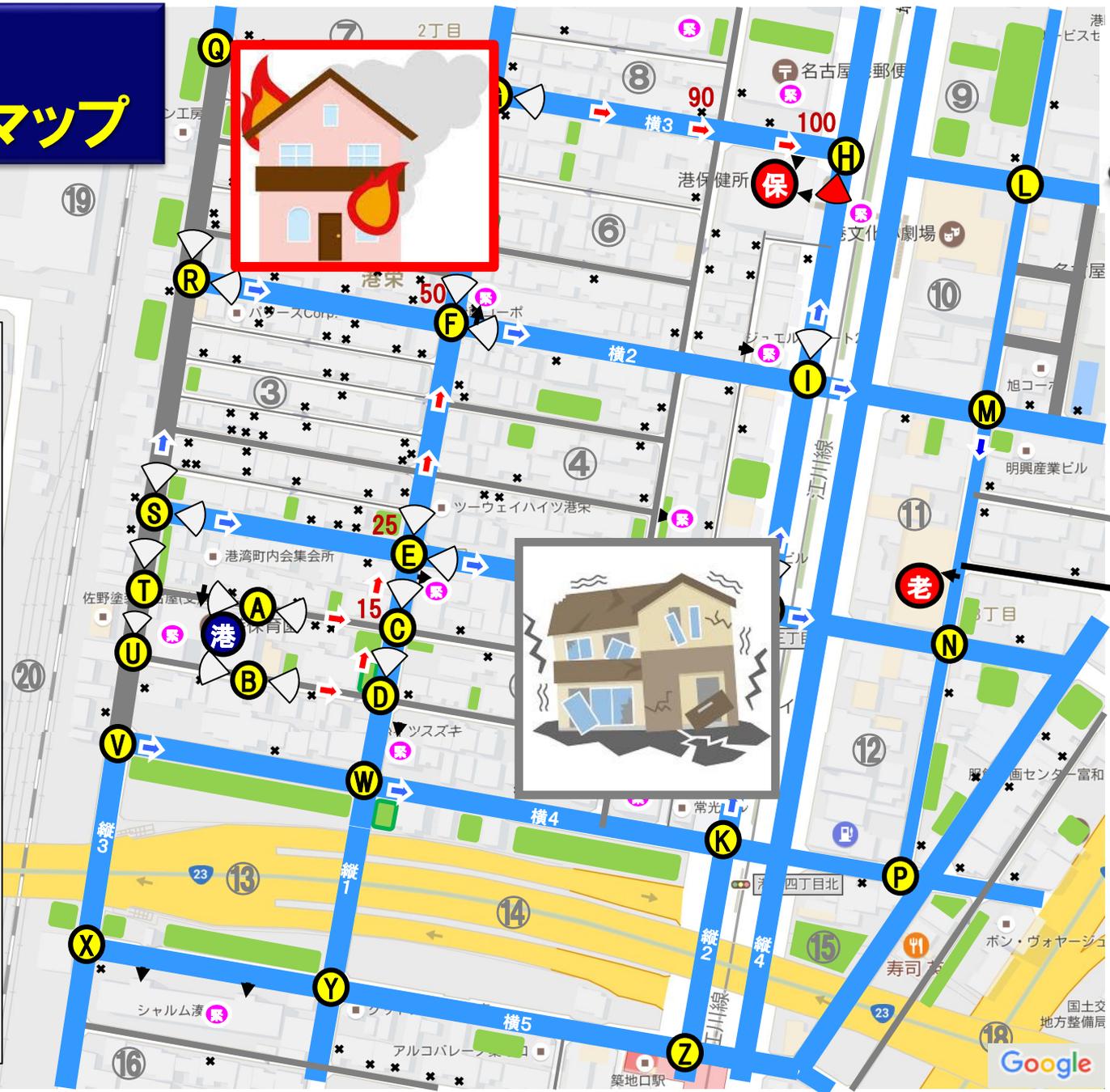
名古屋市立  
M保育園  
津波避難マップ

目標:Mビル

距離・485m  
津波到達:102分

前提  
地震から  
30分後に出発  
津波到達の  
30分前に到着

使用可能時間:40分  
必要速度:12m/分  
730m/時



先行  
偵察



情報  
伝達



時間  
管理

# 避難場所の環境 考えていますか？



避難は  
園児  
だけではない



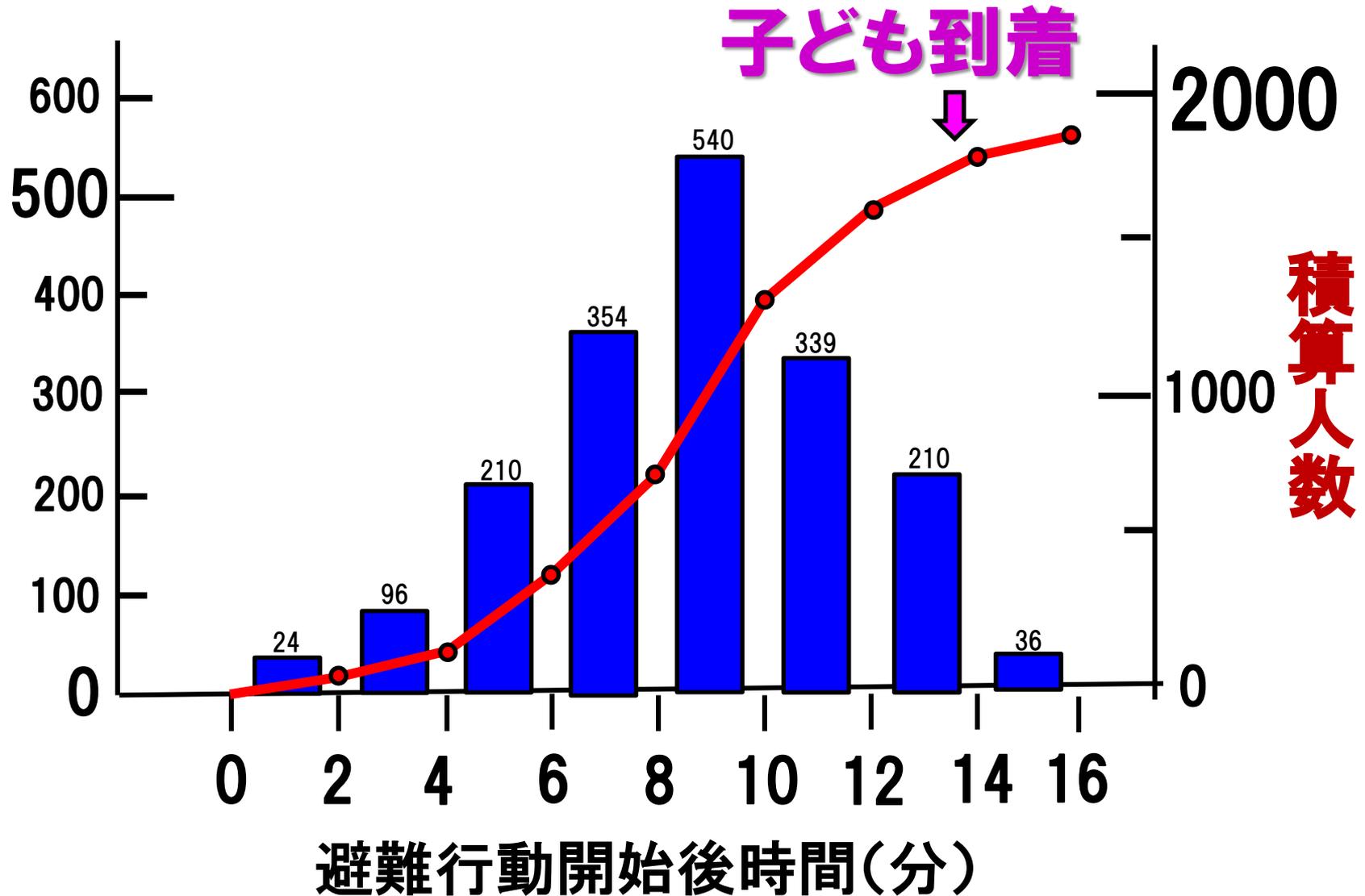
# 津波指定避難場所

3, 4階



# 避難場所到着の人数推移

単位時間当たり人数



# 2000人は、この倍



千人の交響曲 新宿文化センター開館30周年記念演奏会 2010年3月4日(木)  
グスタフ・マーラー：交響曲第8番安ホ長調『千人の交響曲』新宿文化センター大ホール

指揮者：オンドレイ・レナルト 第1ソプラノ：安藤由美子 第2ソプラノ：本下美穂子 第3ソプラノ：安井瑞子 第1アルト：加納佳子 第2アルト：小川明子 テノール：福井 聡 バリトン：福島明也 バス：久保利尚  
合唱：新宿文化センター開館30周年記念合唱団 児童合唱：オーケストラとつながるこども合唱団 児童少年少女合唱団 音楽学園（音楽の森）児童合唱団 オムゲン 高校女子合唱団 東京フィルハーモニー交響楽団

それって ほんとうに **大丈夫**？

行ってみたら



入れない！  
間に合わない！  
居られない！



**シャシにならない！**

それで “逃げ遅れた” なんて・・・

**そこに2～3日間** **いられますか？**



**避難は到着だけで終わらない！** **避難は生活**

# 100人の子どもが避難滞在に必要な面積

子どもがある程度余裕で寝られる面積  
( $4\text{m}^2/10\text{人}$ , 24畳/100人)

+ 職員が横になれる面積(0.8畳/1人、16畳/20人)

+ 荷物を置くスペース (3畳/100人)

+ 移動スペース 3畳



= 46畳 (小学校の教室2つ分)

ある区

人口 約14万人

避難場所 40

約3000人／避難場所

# 災害弱者の避難の考え方



# 自宅を出る 本当に**必要**? **得策**?

広範囲の浸水 ➡ **結局, 避難場所で孤立**



外部移動のリスク, 負う価値ある?

**同じ孤立するなら 自宅が有利**

# 避難の基本は**自宅**



**自宅の安全度**を評価しよう

安全度が**ゼロ**

ということは **あり得ない**

ここから考える

# 正しい在宅避難ができるように！

## 在宅避難 のすすめ

お家が落ち着くね



新型コロナウイルス感染症を踏まえた  
災害時の行動をチェック！

避難所は、**3密（密閉、密集、密接）**による衛生環境の悪化が起こりやすい場所です。

新型コロナウイルス感染症に罹患する危険性を踏まえ、**在宅避難**を含めた災害時の行動など、日ごろから以下の3点を確認しましょう。

「在宅避難」とは、  
自宅などにとどまることで  
命を守ることです。

「防災・減災」  
啓発キャラクター  
ジジヨ



### 1 災害リスクを知る

ハザードマップで自宅が浸水するか等の災害リスクを確認します。想定浸水深がお住まいの階よりも高い場合など、避難が必要なときは近くの指定緊急避難場所を確認しましょう。

市ウェブサイト

防災マップ

検索

地区防災カルテ

検索



### 2 日ごろから備える

在宅避難をするため、以下の準備をしておきましょう。

- 食料や水など必要なものの備蓄（7日分が目安）
- 非常持出品に以下のものをプラス

体温計、マスク、アルコール消毒液  
スリッパ、ゴミ袋

- 住宅の耐震化
- 家具等の転倒防止対策 など



# 災害弱者の対策とは

“とにかく逃げろ！”の意識を持つ  
ことではなく

“命を失わないために どう 逃げるか”

弱者ほど  
(撤退)戦術が 必要

意識重視は 運まかせのバクチ

# 対策の方針とは

“最悪でも **命だけは守る**”

ことが **最優先**

**余分なリスク** は おかさない

“**勝てないけど 負けたくない!**”



**正しい知識 正しい行動**

# 災害弱者と強者の避難方針は違う

安全度

**災害弱者** はアナログ  
すべての安全度を使う  
それぞれのベストの  
建物に入る



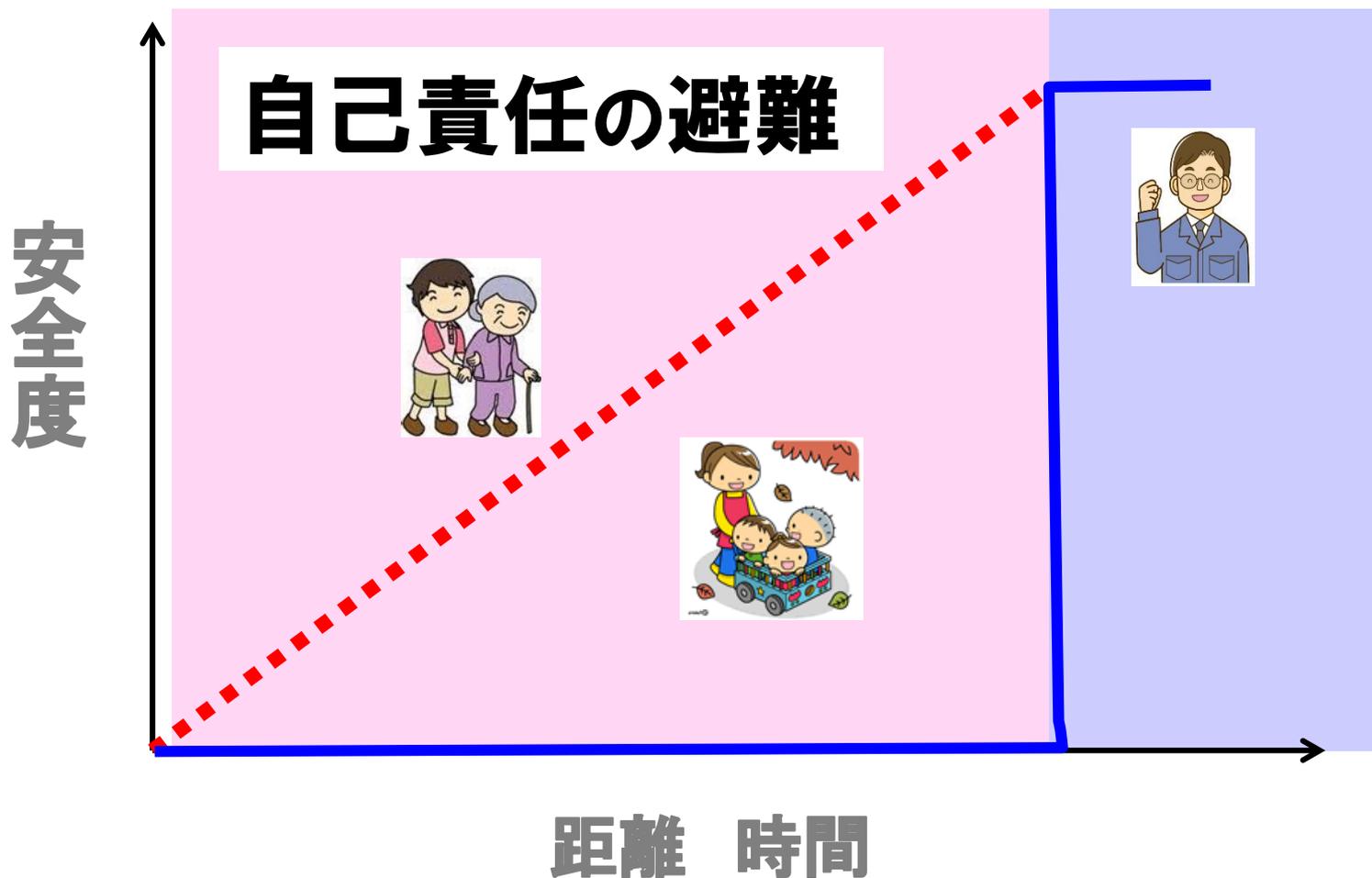
**強者** は  
デジタル  
全てか無か  
(1・0避難)  
地上で  
浸水圏外脱出  
行政の希望

距離 時間

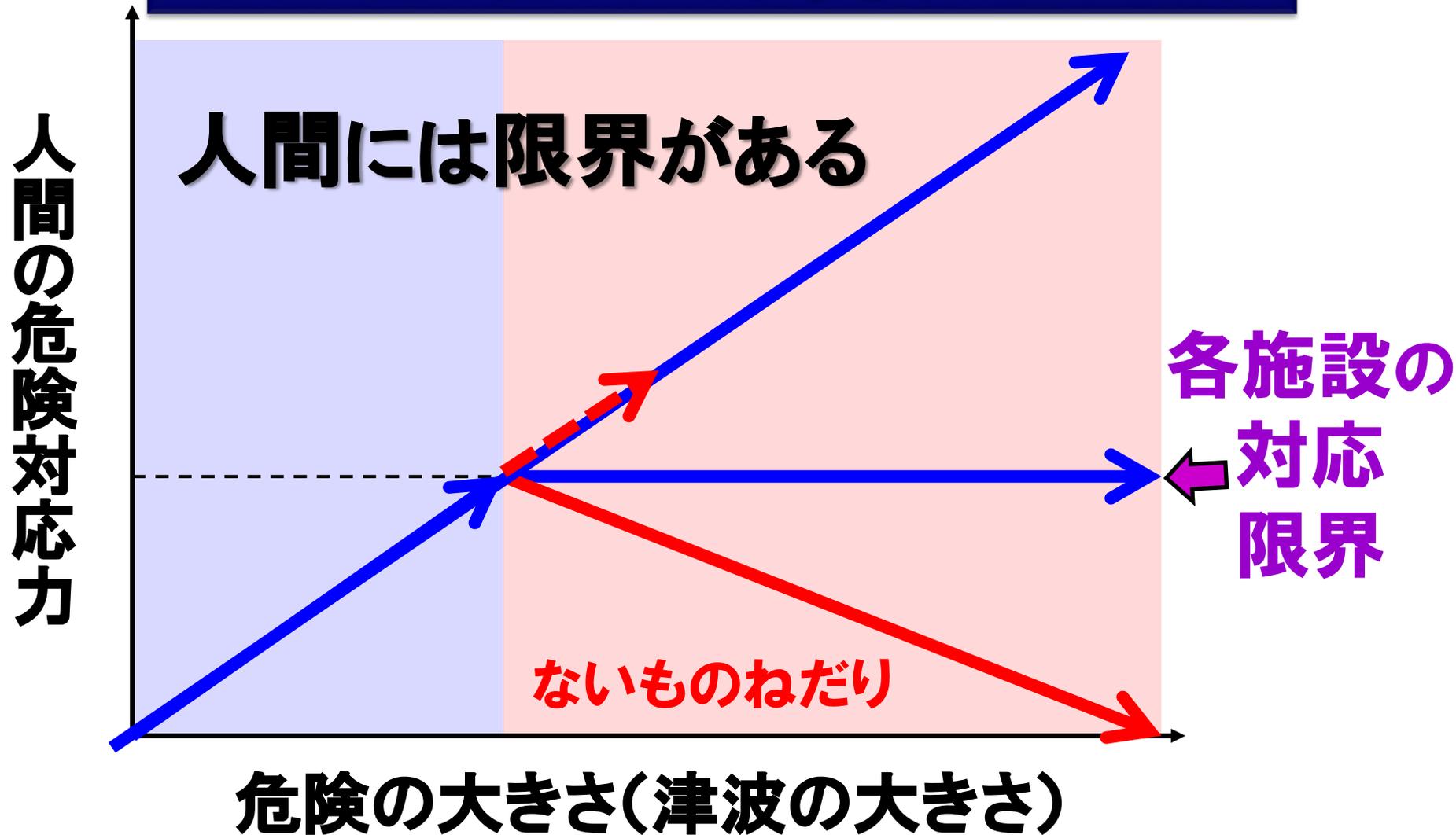
# 自分の身は **自分なりに** 守る

弱者の責任

行政の責任



**想定**が 大きくても 小さくても  
やることは同じ！



人間には **限界** がある

それを超えたら？

それは **運命**

でも



**できること** をしないで  
死んじゃうのは **もったいない**

**災害弱者**の命を守る避難とは  
「引っ張り上げる」こと**ではない!**

**がんばらせる**ことではない!

**それぞれの力**を**支える**

**弱者に合わせる 無理をさせない**



そのために

**災害弱者の力を知る**



最初から「避難場所ありき」ではない！

避難場所 は  
災害弱者に合わせて各自が決める

人間には それぞれの限界がある

「わたしのベスト・ベター」でよい  
想定的大小は 関係ない！

限界を越えたら？ それは運命

# 「対策をする」とは

それぞれの災害弱者が

「自分の **ベスト** や **ベター**」 が

**わかる** **使える** **活かせる**

**環境** を **整備**

想定や設備に合わせることではない！

“**できることしかできない**” のだから

# できますか？

今 大地震が 起こったら

どう考える？ 判断する？ 動く？



即座に わかる？  
即座に 実行できる？



大丈夫！ できるようになります

# 避難手順の**基本**

**発災**

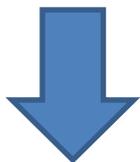


“間に合う”既定目標  
**生き残る**ことが**最優先**

**わたしのベスト・ベター**でよい

**一次避難**

孤立は怖くない（応急食事）



危急存亡の危機の消失  
あせらず、よりよい環境へ

**二次避難**

避難生活（炊き出し）

# 個別の災害弱者に合った 対策を作ろう



**半年～1年で完成します！**

# 施設の災害対応システムを作る

1. **なにが起こるか？** (ドタバタストーリーの作製)
2. **どんな問題か？** (イベントの分類)
3. **どのように対応するか？** (アクションカードの作製)
4. **事前に処理できることは何か？** (整備・調整)
5. **うまく機能するか？** (検証の避難訓練と修正)
6. **全体をまとめる** (マニュアル作成)

# 個々の災害弱者に**対応した対策づくり**

1. 自分の「**ドタバタストーリー**」が土台なら  
「**自分の問題**」がわかる
2. **自分の問題** がわかると
  - 事前解決が可能な問題
  - **アクションカード** が有効な問題
  - あきらめる問題
3. それらの運用法のまとめ (**マニュアル**)

# ドタバタイベントの例（保育園）

- よしお君が、1階のトイレに閉じ込められた。
- 本棚が倒れて、3歳児が部屋に閉じ込められた。
- 園の玄関が歪んで開かず、出入りができなくなった。
- ガラスが割れて、廊下が通れなくなった。
- ガラスが割れて、ひかりちゃんが足にケガをした。
- 地震で、けい君が階段から転落して骨折した。
- 天井から部品が落下してゼロ歳児が頭にケガをした。
- 電気が止まり、暑さで体調不良の子がいる。
- 5歳児のあきこちゃんがパニック状態になった。
- 親と連絡が取れない子がいる。
- 地震がおさまって点呼をしたら、1人いない。
- 強い余震が続くが、どうしたらよいかわからない。
- 停電して園内放送や非常ベルが使えない。
- 着替えが足りない。

# ドタバタイベント・カード

子どもが泣き出しパニックになる  
つられて泣き出す子がいる

←  
←  
←

保育士の声が届かない

←  
←  
←

排泄できず漏らしてしまう

←  
←  
←

棚の玩具が落ち、けがをする

←  
←  
←

保育室だけでなく、トイレ、廊下  
など、子どもがバラバラな場所に  
いる（排泄時に地震発生）

←  
←  
←

動けず、その場で立ちすくむ

←  
←  
←

余震を怖がる

←  
←  
←

停電し、不安になる

←  
←  
←

不安になり抱っこをせがむ

←  
←  
←

慌てて動こうとして転ぶ

←  
←  
←

靴箱、棚、扉などが倒れる 子  
どもが下敷きになる

←  
←  
←

裸足（靴下）で逃げようとする子  
がいる

←  
←  
←

保育士の周りに来て、しがみつい  
て離れようとしめない

←  
←  
←

慌てて動こうとして物にぶつかる

←  
←  
←

部屋中に玩具を広げて遊んでいる

←  
←  
←

食事中に発生 - 食べ物・飲み物が  
散乱する

←  
←  
←

不安から泣きすぎて嘔吐する

←  
←

慌てて動こうとして、友だちとぶ  
つかる

←

遊んでいた玩具が部屋中に散乱す  
る

←  
←

散乱した食べ物・飲み物がかかり、  
汚れたことでパニックになる

←  
←

# ドタバタまとりっくす

発災時

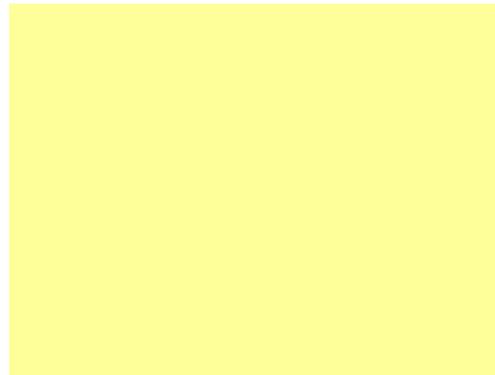
避難移動

落ち着き

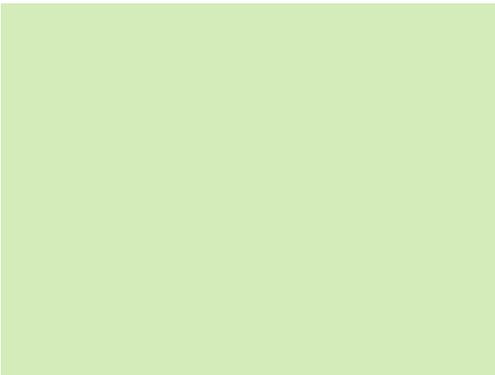
園児



職員



もの



# 「ドタバタまとりっくす」作成中



名古屋市正色保育園

NHK名古屋放送局による取材「まるっと！」

# ドタバタきょりっくす

## 避難移動

## 落ち着き

### 職員

### もの



# 課題の選び出し

1. **アクションカードがあるとよい**
2. **事前に解決する 物品購入等**
3. **どうにもならない、無視する**

# 発災直後の緊急連絡 ←

使用者	訪問看護師 ←	設置場所	各自 ←
<b>大地震発生！</b> ←			
<b>身を守れ！ 落ち着け！ 余震に備えろ！</b> ←			
安全な場所で （連絡先は事前に決めて設定） ←			
<b>電話せよ 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇</b> ←			
ダメなら ←			
<b>LINE せよ、メールせよ（SMS も）</b> ←			
ダメなら ←			
<b>伝言ダイヤルせよ</b> ←			
ダメなら，連絡は3時間あきらめよ ←			
<b>身の安全確保に集中せよ</b> ←			

## 通報事項 ←

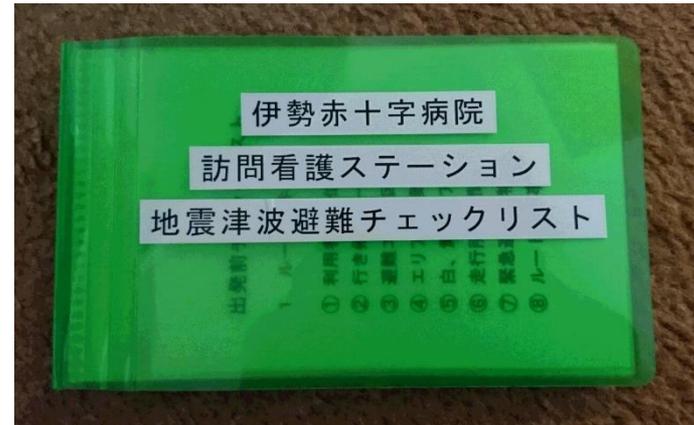
（大声， ゆっくり， 簡潔に， ←  
常に周囲を見よ） ←

1. 名前と場所 （繰り返せ） ←
2. 自分と利用者の安否 ←
3. 状況 ←
4. 今後の予定 ←

## ▶地震停止直後手順

- ① ハザード点灯
- ② 現在地の安全確認
- ③ ラジオ・オン
- ④ 地震停止時刻？〇時〇分
- ⑤ 現在 + X分 = 〇時〇分  
（移動決断時刻）
- ⑥ 決断 + 5分 = 〇時〇分  
（移動限界時刻）  
（いずれもマップに記入）

# 訪問看護津波避難 チェックリスト・ブック (各自携行)



まとめますね！



# 災害弱者の命を守る避難とは

**“がんばる”**という状態に  
入れてはならない！

それには どうするか？

それが **対策**



# 災害弱者の対策の原則

1. **最弱者を基準**として 全体を組み立てよ

誰でも 簡単に最弱者になる



2. **冗長性 (redundancy)**を担保せよ

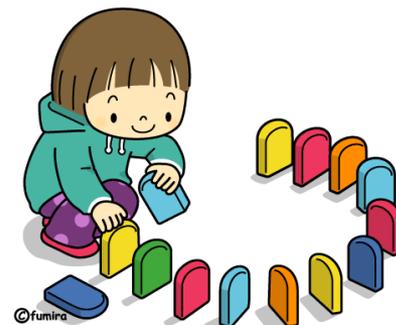
「他もある」「次もある」は 余裕を生む

3. **理想にこだわらず, 弱者の力を知り**  
**がんばらばいい, がんばらせない**

生きていれば なんとかなる!



決まった手順



信頼と安心



普段からの馴染み



# 避難訓練の方法を 考え直そう

いかに **大失敗** できるか！



30% 成功

70% 失敗

想定内  
基本動作  
訓練

想定外  
もしも・まさか  
対応力育成

確認・習熟

批判的検討・反省・修正

**成功は 失敗を助長する！**

大丈夫感覚 ⇒ 確信 ⇒ 反省・修正はイヤ！

⇒ リスク不感症 ⇒ **まさかの事故**

**防災** “危機意識を 高く持て！”  
“身近な問題と 感じていない！”

**不安や恐怖，常に持つことはできない**  
気分が悪い，不感症になる

**大地震・津波は 身近な問題ではない**  
一生に一度 あるか ないか

無理な要求 不自然 格好だけ

**防災はシステム！ 精神論は添え物！**

「そのとき」に  
**適切な意識と行動**が 動けばよい

航空機は

**3秒以内**で

正しい操作をすれば  
墜ちないように  
設計されています

**3秒？**

ものすごく  
長い時間です

渡邊吉之

三菱重工

名古屋航空宇宙システム製作所

チーフテストパイロット



私の危機管理学の先生



# 防災の目的は「安心と自信」

“怖がっても よいことは なにひとつない！”



委縮 まっ白 判断・動作の間違い  
楽しくない 他人任せ

必要なのは 考えなしの恐怖ではなく

すべきことがわかる **自信**

恐怖ではなく **懸念**



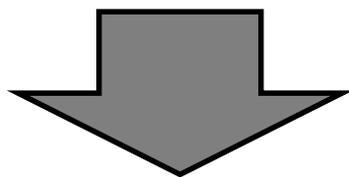
ひとりひとりが そのときに

何を どう判断して

どう動くか



現実的に、直ちにわかる！



「対策をしている」安心

# ご安全に！

## ありがとうございました！



The illustration features two circular scenes. The left scene shows a woman hugging a child, with two other children standing nearby. The right scene shows a group of people, including a woman holding a baby, gathered around a table. Above the scenes is a green line-art cityscape. Below the scenes are the Japanese phrases 'まもるよ ちいさないのち' (Protect little lives) and 'まもるよ みんなのいのち' (Protect everyone's lives).

**まもるよ  
ちいさないのち!**

.....

**地域災害弱者対策研究所**

愛知県立大学